

# 令和6年度政策形成実践研修（短期集中研究会） 事業提言書

グループ名： B

<b>1. 事業名</b>	
満喫“田村市の夏”周遊スタンプラリー事業	
<b>2. 事業目的</b>	
<p>田村市の観光業においては観光客の市内滞在時間の短いことやあぶくま洞への観光客の一極集中していることが課題として挙げられる。</p> <p>本事業は市内各観光施設のスタンプラリー実施を通じて観光客の滞在時間延伸及び他施設等への観光客の誘導を図ることで、交流人口の拡大と地域経済の活性化を目的とする。</p>	
<b>3. 事業概要</b>	
<b>① 現 状</b>	<p>大型鍾乳洞「あぶくま洞」、キャンプ場とビール製造施設が一体となっている「グリーンパーク都路」、ひと山全体を整備し、カブトムシやクワガタ等の昆虫と触れ合うことができる施設「ムシムシランド」等、田村市内の観光施設は山や景勝地を利用したものが多 い。</p> <p>令和5年度時点で市を訪れる観光客（32万人）の約6割（19万人）はあぶくま洞を目的としており、あぶくま洞が観光施設の核だと言えるが、ムシムシランドを令和6年4月にリニューアルする等、既存観光施設の磨き上げにも力を入れている。</p>
<b>② 課 題</b>	<p>観賞メインの施設が多く存在する一方で体験型の施設が少なく、観光客の滞在時間の短さが課題となっている。</p> <p>また、各施設の特徴が強く、現状だと結び付きに欠けるため、施設間での観光客の移動が少ないことも問題として挙げられる。実際に各観光施設にヒアリングを行ったところ、各施設の連携がなく、また各施設ごとに誘客に励んではいるが、それぞれが独立している印象がある、といった声が聞かれた。</p>
<b>③ 事 業 内 容 （ 対 象 ）</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○田村市の観光名所を訪れた方</li> <li>○田村市の観光施設で撮影した写真をSNSで投稿してくれた方</li> </ul>

田村市の観光施設を周遊してもらうために特典付きのスタンプラリーを実施する。スタンプラリー台紙の提示による市内の観光施設入場料等の割引（各施設 100 円）を実施し、市内の周遊につなげる。さらに、2つ以上のスタンプを集めた方には、田村の極と連携したオンラインストアで使用可能なクーポンが当たる抽選を実施する。

また、田村市の観光施設の写真を SNS (X, Facebook, Instagram 等) で投稿してくれた方には抽選で上記と同様にクーポンを配布し、田村市の観光情報の拡散につなげる。

**【スタンプラリー参加方法】**

- ・指定の観光施設や飲食店等でスタンプ台紙を入手し、スタンプを集める。
- ・2つ以上のスタンプを集めると、抽選に応募できる。
- ・応募用台紙とコレクション用台紙の2つを作成し、応募用台紙を送付する。

**【スタンプラリー実施期間】**

7月1日から8月31日

**【スタンプラリー対象施設・イベント等】**

- 「見る」
  - ・あぶくま洞で入場券購入
  - ・お人形様を見る
  - ・ムシムシランドで入場券購入
  - ・星の村天文台で星を観察する
  - ・期間中に開催される地域の祭りに参加する
- 「体験する」
  - ・グリーンパーク都路で、ホップ摘取体験、キャンプ、フリスビーゴルフ等に参加する
  - ・入水鍾乳洞に入洞する
  - ・市内旅館等の宿泊施設への宿泊する
  - ・ムシムシランドでのカブトムシ採集
  - ・ムシムシランドでたがめサイダーを飲む
  - ・あぶくま洞で愛を叫ぶやプロポーズ、結婚式をする
  - ・星の村天文台で新しい星座を見つける
- 「食べる」
  - ・「田村の極み」の取り扱い店舗での購入

※面白味のある達成条件（一見すると達成不可能なもの）を入れる

※体験など難易度の高いものについては、スタンプを加算

**【スタンプラリー台紙】**

- ・スタンプラリー台紙の提示による市内の観光施設入場料等の割引（各施設 100 円）

**【応募方法】**

- ・スタンプの個数（2つ以上）に応じた抽選に参加できる。
- ・抽選券は住所・名前・電話番号を記入して応募する。

**【SNS での投稿方法】**

	<p>SNS (X, Facebook, Instagram 等) において「#夏の田村を大満喫」などとタグ付けして田村市の観光地の写真を投稿してくれた方を対象に抽選を行い、当選者には市内観光地で使用できるクーポンをプレゼント。</p> <p><b>【抽選及び発表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SNS での投稿者については、9月1日以降に抽選を行いDMにてお知らせする。</li> <li>・ 9月1日以降に田村市役所内で抽選し商品の発送をもって通知する。</li> </ul> <p><b>【クーポン及び当選本数】</b></p> <p>スタンプの数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 2個・・・クーポン1,000円分×100本</li> <li>● 3個・・・クーポン3,000円分×50本</li> <li>● 4個・・・クーポン5,000円分×20本</li> <li>● 5個・・・クーポン10,000円分×10本</li> <li>● 特別賞・・・クーポン30,000円分×3本</li> <li>● SNS 投稿者・・・クーポン2,000円分×50本</li> </ul>
<p>⑤ 成果目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スタンプラリー参加者 10000人</li> <li>・ 応募ハガキの枚数 10000枚</li> <li>・ SNS への投稿件数 500件</li> </ul>
<p>⑥ 事業実施のメリット</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あぶくま洞に集中していた観光客を他の施設へ集客することができる。</li> <li>・ 複数箇所をまわることで市が課題としている滞在時間が延伸することにより、市内施設や飲食店等への経済効果の波及が見込まれる。</li> <li>・ 割引や抽選することに加え SNS において拡散することにより、多くの人に田村市をPRでき、交流人口を増やすことができる。</li> </ul>
<p>⑦ 現行事業との比較</p>	<p>市では、既存の周遊事業として、特に田村の“春”に着目した「田村の美桜88景デジタルスタンプラリー」を実施しているが、「桜」と「商工業」を軸とした事業であった。</p> <p>本事業では、田村市に夏に関する施設が多いことから、これまであまり着目されてこなかった田村の“夏”についてより注目を浴びるように事業を構成し、滞在時間の延伸が期待できる事業とする。</p>

<p>⑧ 他自治体の導入事例</p>	<p>福島県喜多方市では、市内の飲食店やお土産店を巡るスタンプラリーを実施している。本事業では、集めたスタンプ数に応じて抽選に応募ができるところを参考とした。</p>
<p>⑨ 事業効果の検証方法</p>	<p>スタンプラリーの参加者数、スタンプラリーの参加者層（応募ハガキにアンケートを掲載する）、応募ハガキの枚数、SNS への投稿件数の実績等について整理する。</p>
<p>4. 実施主体</p>	
<p>田村市による委託事業</p>	
<p>5. 実施スケジュール</p>	
<p>別紙のとおり</p>	

6. 予算概要	
① 事業費	<p>○予算額 6,400,000 円 (委託料)</p> <p>(内訳)</p> <p>○クーポン券分 640,000 円</p> <p style="padding-left: 20px;">1,000 円×100 本=100,000 円</p> <p style="padding-left: 20px;">2,000 円×50 本=100,000 円</p> <p style="padding-left: 20px;">3,000 円×50 本=150,000 円</p> <p style="padding-left: 20px;">5,000 円×20 本=100,000 円</p> <p style="padding-left: 20px;">10,000 円×10 本=100,000 円</p> <p style="padding-left: 20px;">30,000 円×3 本=90,000 円</p> <p>○制作費 ((A5 サイズ 8 ページ) 2,700,000 円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタンプラリー台紙</li> <li>印刷製本費 100 円/冊×10,000 冊=1,000,000 円</li> <li>・各制作資材</li> <li>デザイン費 700,000 円</li> <li>・田村市公式オンラインショップへのクーポン機能実装 1,000,000 円</li> </ul> <p>○その他消耗品費 60,000 円 (事業費の1%程度)</p> <p>○広報費用 2,000,000 円</p> <p>○通信運搬費 100 円×10,000 人=1,000,000 円 (応募券の郵送費)</p>
② 財源	<p>一般財源</p>